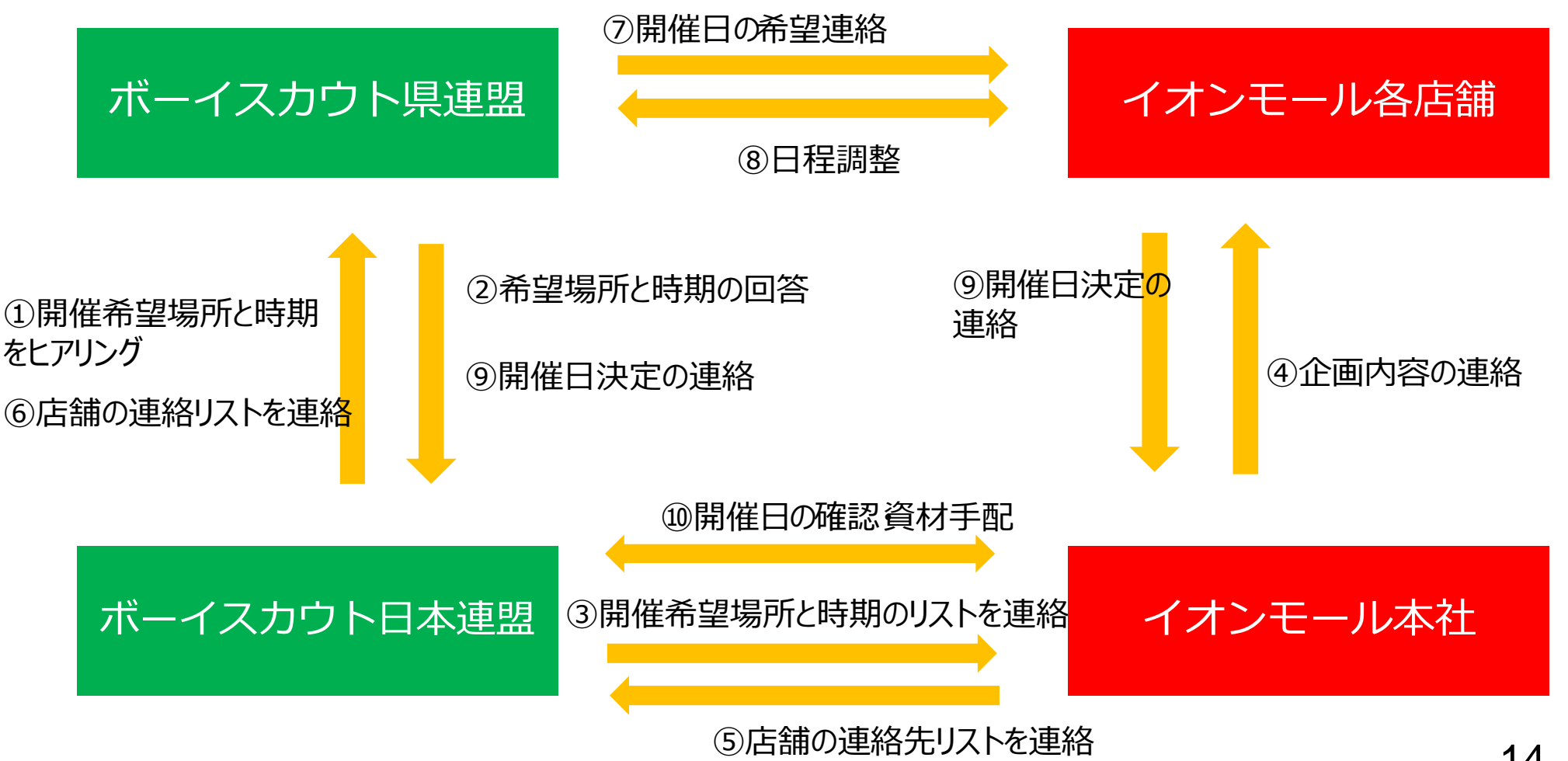


# 全国防災キャラバン 全体の進め方

# 会場調整の流れ



県連盟の事務局さまに各モールの連絡先リストをご案内しておりますので、各県連盟から当該の店舗に連絡を取っていただき、日程調整をお願いいたします。日程が決まりましたら、日本連盟までお知らせください。

※すべての店舗が載っているわけではありません。希望する会場が連絡先リストにない場合は、個別に調整中ですので、もう少しお待ちください。

※日本連盟に「実施希望会場」として回答をいただいた場所にのみ連絡を取ってください。追加を希望する場合はまずは日本連盟にご連絡ください。

イオンモール連絡先一覧表

No.	モール名	事務所直通番号	FAX番号	郵便番号	
1	イオンモール旭川駅前	0166-21-5552	0166-27-5007	070-0030	道
2	イオンカテプリ新さっぽろ	011-890-1112	011-896-8755	004-8577	道
3	イオンモールつがる柏	0173-25-3451	0173-25-3542	038-3107	青
4	イオンモール下田	0178-50-3201	0178-50-3215	039-2112	青
5	イオンモール秋田	018-889-6678	018-826-0143	010-1413	秋
6	イオンモール盛岡	019-605-3512	019-645-8606	020-0148	岩
7	イオンモール名取	022-382-9530	022-382-9532	981-1294	宮
8	イオンモール天童	023-652-0430	023-651-0414	994-0082	山
9	イオンモールいわき小名浜	0246-54-5700	0246-54-3939	971-8555	福
10	イオンモール新利府 南館	022-349-1251	022-356-2851	981-0114	宮
11	イオンモール新利府 北館（開設準備室）	022-349-1131	022-767-2384	981-0112	宮
12	秋田オーパ	018-838-7733	018-838-7720	010-0874	秋
13	イオンモール盛岡南	019-631-3460	019-631-3017	020-0866	岩
14	イオンモール富谷（とみや）	022-779-0829	022-779-0827	981-3329	宮
15	イオンモール五巻	0225-02-1260	0225-02-1266	086-0866	宮



# イオングループについて

イオン北海道株式会社  
イオン東北株式会社  
イオン九州株式会社  
イオン琉球株式会社

イオンビッグ株式会社  
株式会社ビッグ・エー  
イオンタウン株式会社  
株式会社OPA、など

店舗によって所管  
の会社が異なる

例：イオンモール鹿児島はイオン九州株式会社の管理

イオンモール(株)

連絡窓口

日本連盟

# 防災プログラム

各県連盟  
プログラム

地元  
行政

地元  
各団体

イオン  
モール  
店舗

全会場共通プログラム

企業連携  
プログラム



# 新しい全国共通プログラム 「思いやり防災」

本年からの  
新しいテーマ

# お互いに思いやる、助け合いのキモチを育む “もしものとき”の「思いやり防災」



障がい  
がある方



妊婦  
の方



高齢者の方



日本語が苦手な  
外国の方

全国防災キャラバンの体験を通して、知る/考える きっかけづくりを。



自分とは異なる、多様な方々がいることを知る

「思いやる、助け合うこと」を親子で考えてみる

# みんなの困ったを体験してみよう

## ハンディキャップ体験①

ハンディキャップ体験①とハンディキャップ体験②  
は近い場所で展開してください。

■概要：軍手を二重につけてもらい、ブラックボックスの中に手を入れて、中にあるものを当ててもらおう。コインを掴んでもらったり、ペットボトルの蓋を開けてもらおう。

■狙い：手の不自由さや目の不自由さ、停電のときなどを体験してもらおう。

■準備物：使い捨て用ビニール手袋、軍手、ボックス、ペットボトル、コイン、アルコール

### ■事前準備（設営）

①テーブルにボックスを2つ、軍手（大人用・子供用）、ビニール手袋（2サイズ）、アルコールを並べる。

②ボックスの中にコインやペットボトルを入れておく。

### ■運営手順

①受付で手指をアルコール消毒してもらおう

②ビニール手袋と軍手をつけてもらおう（軍手は二重に）

③ボックスの中に手を入れて、中にあるものを当ててもらおう

④正解発表として、ボックスの中身を見せてあげる

⑤テーブルの上でコインなど小さいものを掴んでもらう、ペットボトルの蓋をあけてもらおう

⑥振り返りの説明を行い、体験終了

⑦ビニール手袋はゴミ箱へ。使った資材はアルコールで拭き除菌

参加者の年代にあわせて、  
ボックス（バケツ）の高さを  
調節してください。



### ■振り返りの説明

「目の見えない人は災害時の避難が大変だからもし自分の周りにいたらお手伝いをしてあげよう。お家が（停電）電気が消える）とみんなも困るから懐中電灯などを身近に準備しておこう。軍手を二重にすることで手が動かしにくかったね。お年寄りの方などはこのような不自由さがあるから、もし困っている様子があったら、自分にできるお手伝いをしてあげよう。」



# みんなの困ったを体験してみよう

## ハンディキャップ体験②

ハンディキャップ体験①とハンディキャップ体験②  
は近い場所で展開してください。

- 概要：イヤーマフをつけて、耳が聞こえにくい状態にして、ブロック崩しを体験してもらう。
- 狙い：耳が不自由な人が災害発生時にどのようなことが困るかを体験してもらう。
- 準備物：使い捨て用イヤークラップ、イヤーマフ、アルコール、（ブロック崩しプログラムと連動）

### ■ 事前準備（設営）

- ① テーブルにイヤークラップ、イヤーマフ（2サイズ）、アルコールを並べる。
- ② ブロック崩しのプログラムを準備する。

### ■ 運営手順

- ① 受付で手指をアルコール消毒してもらう。
- ② 普通の状態でもブロック崩しプログラムを体験してもらう
- ③ イヤークラップをつけてもらう。
- ④ イヤーマフをつけてもらう。必要に応じてサイズの調整
- ⑤ 同じようにブロック崩しプログラムを体験してもらい、「危ない」など声を出して危険を伝えてあげる。
- ⑥ 参加者に「危ない」の声を聞こえにくさを体験してもらう。
- ⑦ 振り返りの説明を行い、体験終了。
- ⑧ イヤークラップはゴミ袋へ、使った資材はアルコールで拭き除菌

### ■ 振り返りの説明

「耳が聞こえにくいとは、危ない音などが聞こえにくいから、大きな身振り手振りで危険を伝えてあげよう。耳が聞こえにくい人はテレビやラジオのニュースから災害の情報を得ることができないから、自分の住んでいる周りにそのような人がいる場合には災害時に気にしてあげよう。」



- ・“もしものとき”も、みんなの困ったを助けてあげよう！（パネル）
- ・シンボルマークを知ろう（パネル）
- ・思いやり防災体験ノート

■ 概要：災害時に困っている人のイラストが描かれたパネルをみて、自分はどのようなお手伝いができるか考えて、「体験ノート」に記入してもらう。回答用のパネルをみて、回答の一例を学ぶ。障がい等についてのシンボルマークを知る。

■ 狙い：地域にはいろいろな人がいて、災害時にはいろいろ困る人がいるから、自分にできるお手伝いを普段から考えてもらう。

■ 準備物：テーブル、鉛筆、体験ノート、木の葉章のシール、パネル（5種類）、パネルを乗せるイーゼル

## ■ 事前準備（設営）

- ①テーブルに体験ノートと鉛筆を置く。体験ノートは受付で配布してもOK
- ②イーゼルのパネルを立てて、会場内に設置する。＊問題用と回答用は少し離れた場所におく。

## ■ 運営手順

- ①参加者に体験ノートと鉛筆を配る。
  - ②問題用のパネルを見てもらい、それぞれ「なぜ困っているか」、困っている人に対して「自分は何ができるか」を考えて体験ノートに書いてもらう。
  - ③会場のどこかに回答の一例が描かれたパネルがあるから、それをみて学んでもらう。
  - ④シンボルマークパネルを見て、いろいろなマークがあることを知ってもらう。
  - ⑤戻ってきてもらい、体験ノートに「木の葉章シール」を貼ってあげる。
  - ⑥ノートは持ち帰ってもらい、今日の学びを振り返ってもらえるようにする。
- ※字を書くことが難しい年齢の場合は、パネルを説明してあげて、木の葉章のシールを貼ってあげる。

## ■ 振り返りの説明

「みんなが住んでいるおうちの近くにもきっと、外国の人やお年寄りの人などいろいろな人が住んでいるから、大きな災害が起きたときにどのようなお手伝いができるか普段から考えておこう。パネルに書いてあることは、お手伝いの例だから、みんなが考えたことも大切だよ」



# その他、本年からの新しい資材

# 段ボールパーティションで避難所を体験してみよう

- 概要：段ボールで作られたパーティションの中に入り、避難所での生活を体験してもらう
- 狙い：避難所でのプライバシーの確保や感染症対策の必要性を体験してもらう
- 準備物：段ボールパーティション、椅子、アルコール

## ■ 事前準備（設営）

- ①箱から段ボールパーティションを取り出し、会場に設置する。
- ②なかに椅子を置き、参加者が座れるようにする。

## ■ 運営手順

- ①手指をアルコール消毒してもらう。
- ②避難所でのプライバシーの確保や感染症対策が大切だということを説明する
- ③パーティションなかに入って、椅子に座ってもらい、パーティション内での生活をイメージしてもらう。実際に使う際は椅子ではなく、敷物を敷いて座るかたちであることを補足する。
- ④パーティションから出てもらい、椅子をアルコールで除菌する。

## ■ 振り返りの説明

「避難所ではみんなと一緒に生活をするから、このようなパーティションや簡易なテントなどがあると助かりますね。いまはコロナウイルスの対応としてもこのようなものが必要になってくるでしょう。この段ボールパーティションは、(株)井上総合印刷さまと船山(株)さまにご提供いただきました」





# ボーイスカウトの災害ボランティア（パネル）

災害が起きた際、被災地でのボランティア活動や被災地ではない場所での募金活動など、ボーイスカウトの活動の様子を紹介するパネルです。会場内に設置してください。

## ボーイスカウトの災害ボランティア

**東日本大震災をはじめ、これまでの多くの災害に際して、被災地だけでなく全国のボーイスカウト（とくに、「ローパスカウト」と呼ばれる18～25才のスカウト）がボランティア活動を行いました。**

東日本大震災の発生時には、ボーイスカウトとしてボランティア基地を立ち上げ、全国のスカウト仲間の支援を受け入れました。

私たちボーイスカウトのモットーは「そなえよつねに」です。準備を怠るなということですが、その準備には災害時に役立つスキルはもちろん、人のために力を尽くそうという心も含まれています。被災現場で求められる指導力や協調性、継続力といった目に見えない力も準備しておかなければなりません。

これまでの被災地でのボランティア活動では、そういう「準備」が活かされてきました。

世界中に仲間がいるボーイスカウトでは、震災が発生すると海外から多くのメッセージや救援物資が寄せられます。

災害に限らず、いつでも人や社会の役に立つことができるように、ボーイスカウトではこれらの「準備」を普段の活動において培っています。

ボランティアセンターに集まる他のボランティアの人たちと一緒に協力しながら土砂のかけ出しや吹き出しなどを行う様子

ボーイスカウト予選連では、「おはなちのぼう」という活動で避難キャンプなどの支援員を全国から募集。募財で被災した小学生のために募財

WITH FRIENDSHIP AND HOPE FROM BELGIUM!

イギリスからのボランティア支援（熊本県） スロベニアからの応援メッセージ

## ボーイスカウトの災害ボランティア

被災地での災害ボランティアだけでなく、各地で募金活動や救援物資などによる支援も行っています。

東日本巨大地震被災者救援活動  
ボーイスカウト連田第3団

東日本巨大地震被災者救援活動  
水戸地方 水戸海神地区

東日本巨大地震被災者救援活動  
水戸地方 水戸海神地区

台風や豪雨による災害も多く発生し、そのたびに必要とされること、いまできることを自分たちで考えて行います。

平賀花津を企画し、スカウト仲間と呼びかけたボーイスカウト関係者からの募財

被災した方へ募財をお贈しただけに感謝を申しあげられ、その感謝に答えた「募財活動」6名分中1名は、この日に募財を贈ってほしい、この日に被災が原因の事故に「募財は送る」ということを伝えたい人を人になってほしい。

2018年 西日本豪雨災害・平賀花津のボランティア

2018年 西日本豪雨災害・小さなスカウトも一歩を



# ラリーカード



店舗によっては、複数の会場で実施するケースがあります。また、一つの会場で実施する場合においても、各プログラムを周遊してもらい、参加者の滞在時間を長くするためのツールとして、ラリーカードを準備しました。会場の前を通りすぎる子どもたちを呼び込む際のツールとしてもご活用ください。

◆左図のデザインのとおり、汎用性の高いものとなっております。決まったプログラムに連動しているものではありませんので、県連盟ごとのプログラムに応じてご活用ください。

◆県連盟がお持ちのスタンプなど自由に使ってください。また、スタンプである必要もありませんので、シールやスタッフのサインなどでご対応いただいても結構です。

◆QRコードからは、日本連盟のWEBサイトにリンクしています。「お近くの団を探す」などへの誘導にご活用ください。

※日本連盟からはラリーカードのみ配布いたしますので、スタンプやシールなどは県連盟でご準備ください。

※景品などはございません。あくまでラリーで周ってもらうことを目的としています。



# パンチングバルーン



ビーバースカウトとカブスカウトのイラストが描かれたバルーンです。下に重しが付いているので、自立します。

付属の電動エアポンプを使って膨らませてください。差し口を変えることで、空気を抜くこともできます。膨らませるのに約15分かかります。

※電源が必要です。

※電動エアポンプの稼働時は少しうるさくなりますので、なるべく店舗営業時間外あるいはバックヤードでの操作をお願いします。

※破裂（破損）しないようご注意ください。



# 野口アンバサダー（自立式バナー）

野口アンバサダーのバナーです。自立しますので、会場の空いているスペースに設置してください。  
野口宇宙飛行士がボーイスカウトの経験者であること、ボーイスカウトのアンバサダー（広報大使）に就いていただいていることなどを保護者の方にPRして、関心を高めてください。



# ガーランド

会場装飾用のガーランドです。ボーイスカウトのPR用にお使いください。  
各店舗によって装飾物の制限（高さや重さ）がある場合がありますので、どの会場でもお使いいただけるようガーランドを用意しました。



# テーブルクロス

■テーブルクロス (w1800×D450mm)



# ポップアップサイン





# 新型コロナウイルス 感染症対策について

- 1) ボーイスカウト日本連盟のガイドライン
- 2) イオンモールのガイドライン

## スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（更新）

投稿日:2020.07.10 更新日:2020.12.07

※ガイドライン中の【参考】『文部科学省「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準』を更新しました。

5月14日より「緊急事態宣言」の解除が、地域の状況により解除されつつあります。宣言が解除された地域では、今後、徹底的なクラスター対策を講じること  
で感染拡大の防止に努めつつ、「新たな日常」をスタートさせることが求められます。

全国のボーイスカウト関係者では、宣言解除を受けて、それぞれの地域での活動再開に向けて準備を始められていると思います。日本連盟では、各地域で活動  
を実施していく際の感染拡大予防のための留意点について、政府等の情報を参考にガイドラインとしてまとめました。各地域では、本ガイドラインに沿って活  
動を展開していただくようお願いします。ただし、今後の状況により、政府はもとより各地域（自治体）から新たな自粛要請等が発出した場合は、この要請に  
応えることとします。引き続き、各自治体、地域とも連携した対応をお願いいたします。

インターネットで「ボーイスカウト ガイドライン」で検索していただきますと、日本連盟  
WEBサイトに掲載しているガイドラインをご覧ください。

### (1) 感染予防チェックリスト（設営・撤去時）

C/K	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1.マスクの着用	設営・撤去スタッフ全員マスクの着用
<input type="checkbox"/>	2.定期的な消毒液の使用	定期的に消毒液をスタッフ全員使用
<input type="checkbox"/>	3.手洗いの実施	定期的にスタッフ全員の手洗いの実施
<input type="checkbox"/>	4.体調管理チェックシート	『体調管理シート』を記入し、イオンモール事務所へ提出 ※該当項目のあるスタッフは出勤しない ※イベント終了後14日間は『体調管理シート』を保管
<input type="checkbox"/>	5.検温のダブルチェック	従業員入口での検温のダブルチェック

### (2) 感染予防チェックリスト（運営時）

C/K	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1.マスクの着用	運営スタッフ全員マスクの着用
<input type="checkbox"/>	2.定期的な消毒液の使用	定期的に消毒液をスタッフ全員使用
<input type="checkbox"/>	3.手洗いの実施	定期的にスタッフ全員の手洗いの実施
<input type="checkbox"/>	4.体調管理チェックシート	『体調管理シート』を記入し、イオンモール事務所へ提出 ※該当項目のあるスタッフは出勤しない ※イベント終了後14日間は『体調管理シート』を保管
<input type="checkbox"/>	5.検温のダブルチェック	従業員入口での検温のダブルチェック
<input type="checkbox"/>	6.会場レイアウト	お客さま同士の間隔を確保した会場レイアウト
<input type="checkbox"/>	7.消毒液の設置	会場内へ消毒液等を設置
<input type="checkbox"/>	8.告知物POPの設置	受付・会場内に下記告知物の掲示 ①マスク着用のお願い ②手指消毒のお願い ③発熱症状のあるお客さまは参加ご遠慮いただく旨のお願い など
<input type="checkbox"/>	9.待機列の区画	ベルトパーテーション・フットマークの準備
<input type="checkbox"/>	10.室内換気 (閉鎖空間のみ)	30分毎に5分以上の換気。 扉は全開とし、扇風機を外部に向けて使用するなど、 工夫を行う。可能な場合は扉は全開とする。
<input type="checkbox"/>	11.手指消毒	イベント参加前後にお客さまの手指消毒の実施
<input type="checkbox"/>	12.各種備品の消毒	机・椅子等の備品など、お客さまが触れる範囲の 定期的な消毒の実施
<input type="checkbox"/>	13.接触回避	演者・スタッフとお客さまの握手など接触は極力控える
<input type="checkbox"/>	14.密集回避	イベント開催前後でお客さま待機列や イベント会場外への速やかな誘導

	チェック	実施事項	オープンスペース
①参加人数・参加ルールの設定	<input type="checkbox"/>	参加人数の制限	○
	<input type="checkbox"/>	イベント参加時のルール	○
②会場内対策	<input type="checkbox"/>	消毒	○
	<input type="checkbox"/>	換気	×（常時換気状態と判断）
	<input type="checkbox"/>	ソーシャルディスタンス運営	○
	<input type="checkbox"/>	飛沫対策	○
	<input type="checkbox"/>	告知・アナウンス	○
③お客さま対策	<input type="checkbox"/>	マスク着用	○
	<input type="checkbox"/>	手指消毒	○
	<input type="checkbox"/>	参加時の受付チェック	○
④出演者さま対策	<input type="checkbox"/>	手指消毒	○
	<input type="checkbox"/>	体温チェック	○
	<input type="checkbox"/>	飛沫対策	○
	<input type="checkbox"/>	共有備品消毒	○
	<input type="checkbox"/>	行動制限	○
⑤運営者団体さま・スタッフ対策	<input type="checkbox"/>	手指消毒	○
	<input type="checkbox"/>	体温チェック	○
	<input type="checkbox"/>	飛沫対策	○
	<input type="checkbox"/>	共有備品消毒	○
	<input type="checkbox"/>	行動制限	○
⑥対外的な訴求	<input type="checkbox"/>	コロナ対策POP掲出	△

# 新型コロナウイルス感染症対策について

## ①参加人数・参加ルールの設定

### ■参加人数の制限

#### ●体験会

- ・1回あたりの参加人数制限 ⇒ 4名以内（要確認）  
（家族、友人等での調整）
- ・1回あたりの時間設定 ⇒ 5～10分以内（要確認）

### ■イベント参加時のルール

#### ●マスク着用

- ・お客さまが着用していない場合は参加ご遠慮いただく

#### ●手指の消毒

- ・イベント参加前後での手指消毒いただく

#### ●COCOA

- ・受付時に登録呼びかけ

#### ●その他

- ・体調がすぐれない場合は参加ご遠慮いただく

**店舗ごとに対応が異なるので要確認**

# 新型コロナウイルス感染症対策について

## ■ 消毒

人が入れ替わる前後のタイミングで  
触る可能性がある部分を消毒



- ・設営時
- ・開始前
- ・終了後／入れ替え時
- ・備品撤去時

- ・入店前
- ・作業開始前
- ・体験会開始前
- ・体験会中（適時）
- ・体験会終了後
- ・食事、お手洗い等各休憩後
- ・撤去前後
- ・退店前

手袋着用



**【消毒必須場所】**  
 お客さまが触れるもの関係  
 ※アルコールスプレーによる  
 お客さま接着面の拭き取り

## ■ ソーシャルディスタンス運営

お客さま同士の距離を確保できるよう対策

座席間は最低1mの距離を置く



**【ツール案】**  
**足元POP設置**



※車椅子ユーザーや視覚障害者などに対する介助者はその限りではない旨を記載

## ■ 飛沫対策

スタッフ、参加者の「マスク」着用

## ■ 告知・アナウンス

(手指の消毒) (マスクの着用) (出入口の換気)

(体調がすぐれないときは、来店はご遠慮ください) (会話は控えめ)

**お客さまへのお願い**

発熱症状のある  
お客さまは  
恐れ入りますが  
ご参加を控えて  
頂きますよう  
お願い申し上げます。



## 新型コロナウイルス感染症対策について

## ■ 体温チェック

当日の検温

- ・従業員入口
- ・イベント会場
- ※ダブルチェック

イベント前後の検温

- ・イベント前 3日間
- ・イベント後 2週間

## 【基準】

- ・37度以上目安でNG
- ・風邪の諸症状なし
- ・同居家族に陽性の疑いなし

チェックシート  
ご提出

## ■ 行動制限

- ・使用するトイレは従業員用 1 箇所
- ・控室で飲食する際はルール順守
- ・控室での基本マスク着用・距離担保の徹底
- ・控室での備品の共有はNG

## その他\_後方控室（バックヤード）での行動制限

## ■ 控室の人数制限について

同時間帯の利用人数を制限

## ■ 控室の換気について

- ・30分に1回以上、5分間程度扉を開く
- ・もしくは利用時は常時解放

## ■ 控室での食事について

控室の飲食は原則禁止とします。

ただし、やむおえず控室で飲食する場合は、下記留意します。

☑向かい合わせでの飲食は禁止します。

（壁付きのテーブルを使用、飲食中の会話は禁止）

☑飲食物の保管や放置は禁止します。

☑飲食物は他人のものに触れません。



## 開催可否の判断について

新型コロナウイルス感染症の拡大状況は地域によって異なり、また、予想ができないものです。

全国防災キャラバンの開催が近づいた際の、各地域での感染状況などを考慮し、「開催中止」とする場合は、各県連盟と各店舗とで協議のうえで、決定していただいて構いません。

日本連盟には事後報告をお願いいたします。

台風の前報が出ている場合や災害が発生した時も同様に、各県連盟と各店舗で開催可否を決定してください。



# 3月28日キックオフイベント 福島・イオンモールいわき小名浜

ボーイスカウト福島連盟  
勝倉 孝行 いわき地区副コミッショナー

# キックオフイベント

企画名称：家族で体験！防災プログラム 全国防災キャラバン\_2021年キックオフイベント

開催日時：2021年3月28日（日） 10:00～16:00

会場：イオンモールいわき小名浜

会場A：2F マリンコート

会場B：2F ウェストコート（イオンスタイル前）

屋外\_アクアマリンパーク（雨天により中止）

他会場：会議室A・B ※控室/備品置き場など

内容：1. 全国防災キャラバン\_2021年 キックオフイベントセレモニー  
2. 全国防災キャラバン\_家族で体験！防災プログラム体験

共催：(公財)ボーイスカウト日本連盟、ボーイスカウト福島連盟  
イオン(株)、イオンモール(株)、イオン東北(株)

協力：いわき市社会福祉協議会、いわき東警察署、いわき市小名浜消防署  
福島海上保安部

後援：いわき市教育委員会、文部科学省



# キックオフイベント

## 体験プログラムの内容

---

### 1. マリンコート

- 全国防災キャラバン キックオフセレモニー
  - みんなで知ろう！思いやりのシンボルマーク（パネル展示）【全会場共通】
  - “もしものとき”も、みんなの困ったを助けてあげよう！（パネルプログラム）【全会場共通】
  - みんなの困ったを体験してみよう（身近なものでハンディキャップ体験）【全会場共通】
  - 段ボールパーテーションで避難所を体験してみよう【全会場共通】 ● ブロック崩し【全会場共通】
  - 災害ボランティアのマッチングまでの流れ（パネル等の展示）【協力：いわき市社会福祉協議会】
  - ハンディキャップ体験プログラム(プロテクター着用でシニア体験)【協力：いわき市社会福祉協議会】
  - 簡易担架の作成【福島連盟】 ● 人形を使った心肺蘇生の体験【福島連盟】
  - 災害ボランティアパネル（パネル展示）【福島連盟】
- 

### 2. ウェストコート

- 防災グッズ・キムス【福島連盟】
  - 簡易トイレの展示【福島連盟】
  - いざという時のロープ結び【福島連盟】
- 

### 3. 屋外 アクアマリンパーク

- パトカー・白バイ展示【協力：いわき中央警察署】
- 海上保安庁 船舶展示【協力：海上保安庁】
- ロープの結び方体験【協力：海上保安庁】



※雨天時は、パトカー・白バイ・船舶展示が中止となる場合がございます。

※雨天時は、ロープの結び方体験をイオンモールいわき小名浜 4Fウェストコートで開催します。

# キックオフイベント

## 防災宣言

### ■ビーバースカウトいわき10団 鈴木 優 (すずき ゆう)

ふくしまけんでは二月十三日と三月二十日の夜に、大きな地しんがありました。

おとしには、たい風で川があふれて、たくさんの人が大へんなおもいをしました。

十年前の東日本大しんさいでは、たくさんの人が、もっともっと大へんなおもいをしたそうです。

わたしたちは、家ぞくにまもられているからしあわせですが、地しんやたい風がおきると、このあたり前の生かつが、あたり前ではなくなることをおしえてもらいました。

だから、**・自分でできることは自分でやります。・一日、一日を大切にします。・家の人とのまぢあわせばしよを、きめておきます**

### ■カブスカウトいわき10団 村尾健太 (むらお けんた)

わたしたちは、「そなえよつねに」を心がけ、ボーイスカウトのちかひにある「いつも他の人を助けます」を守り、

・地しんやさいがいにそなえて、必よなものをしゅんびします。・いつでもひなんできるように、せいり・せいとんに気をつけます。

・友だちや近所の人と助け合います。・「いのち」を大切にします。全国の「地いきぼうさい力」向上にこうけんすることを、ここにせんげんします

### ■ボーイスカウトいわき3団 渡邊 諒 (わたなべ りょう)

私は、10年前の東日本大震災を経験しました。当時は幼かったこともあり、防災に対する考えはあまりありませんでした。

ボーイスカウト活動を通して、救急法や災害時に「そなえよつねに」をモットーに役立つことを学び、どんな困難な状況になっても、くじけず学ぶことを宣言します。

### ■ローバースカウト須賀川1団 安齋会香 (あんざい はるか)

震災10年という節目を迎えて、私は、震災の際は小学生でしたが、震災のころの記憶が薄れてきていること、そして、人々の危機感が薄れてきていることを感じています。

震災を知らない子供たちは、逆に学校などで教えていただいている防災の意識などを、常に持っていますが、私たち震災を経験した者たちが、震災の経験を何か地震が起きた時に「東日本大震災よりは、小さいから大丈夫だ。」と安心するだけではなく、今まで体験したことのないような災害が起こっても、常に自分の命を守り、そして、他の助けが必要とされる方々の命を守っていけるような行動を、「備えよ常に」をモットーにしつづけることをここに宣言します。



# グループでの情報交換

# グループワークの進め方

- ◆時間は25分間です。終了の3分前にアナウンスが表示されます。
- ◆グループ内で進行役を決めるなど、自由に進めていただいて構いません。
- ◆これまで、各県連盟で防災キャラバンを実施する中で、「**うまくいったこと**」や「**もっと改善できること**」などを自由に情報交換してください。疑問点について、グループ内で解決できるものもあるかと思いますので、ぜひこれまでのご経験を共有しあってください。
- ◆グループワーク終了後、質疑応答の時間を設けます。質問がある場合には、グループで質問を集約していただき、お一人が発言してください。  
個別の質問については、後日メール等で受け付けます。

# 質疑応答

# よくある質問

Q：スタッフは何人必要ですか？

A：プログラムの内容や会場の広さによると思いますので、確保できそうな人数に応じたプログラムの展開をご検討ください。なお、共通プログラムの運営スタッフとして3～4人をお願いいたします。ビーバーやカブ年代のスカウトには会場のにぎやかで楽しい雰囲気になるように、「遊びに」来ていただけるようにご案内・ご協力をお願いいたします。

Q：開催時間や会場レイアウトどうやって決めればいいですか？

A：当日の運営の詳細につきましては、各県連盟と会場となるイオンモール担当者様との間で事前の打ち合わせ、調整をお願いいたします。共通企画を実施することができるようスペースの確保をお願いします。

Q：会場で県連盟行事の告知や入団相談を行っても良いですか？

A：本キャラバンは、ボーイスカウト運動のPR及び会員拡充のための大きな機会となっておりますので、是非、PRや入団案内に注力をお願いいたします。

Q：県連盟や団で運用するホームページやSNS（facebook等）に写真を掲載して良いですか？

A：一般の参加者については、写真の取扱いにお気を付けください。撮影する際にお声掛けし、子どもであれば保護者からの承認を得た上で撮影をお願いします。あるいは、後ろからの写真や手元だけ写すなどの工夫をお願いします。



# よくある質問

Q：備品は何日前にどこに届きますか？

A：原則2日前までに会場の店舗に段ボールでお送りします。イオンモールさまの方で受け取りと発送をご対応いただけます。

Q：日本連盟・イオンモール本社からはどのような資材が送られてきますか？

A：全会場共通資材一式をイオンモール店舗に直接お送りします。なお、普及資料（子ども向け三つ折りリーフレット）は県内での会場数分を県連盟事務局にお送りいたします。

Q：資材はどこに返送すればよいですか？

A：**各店舗の担当者さまから「株式会社クレオ」に返送していただきます。**ご担当者さまが返送先をご存知ない場合は以下をお伝えください。

〒275-0023 千葉県習志野市芝園2-6-6 株式会社クレオ 東京プロモーションセンター  
物流部 山下様 宛 TEL：047-408-2501

備考欄：イオンモール企画 全国防災キャラバン体験プログラム資材

Q：資材の返送費用はどうすればよいですか？

A：イオンモール店舗さまにご負担いただきます。本社さまにご確認いただくようお願いください。

# よくある質問

Q：備品借用の費用が発生すると言われたがどうしたらよいですか？

A：イオンモールさまとの共催事業なので費用はかかりません。

店舗担当者様からイオンモール本社様にご確認いただくようお願いください。

Q：駐車場代が発生すると言われたがどうしたらよいですか？

A：各店舗によって状況が異なるかと存じますが、まずはイオンモールさまとの共催事業であることをお伝えください。やむを得ず料金発生するということであれば公共交通機関をご利用いただく、乗り合いで来場いただくなどご対応いただいたうえで、費用のご負担をお願いします。

Q：日本連盟から補助金はありますか？

A：ありません。恐れ入りますが、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

Q：店舗担当者様から企画書が欲しいと言われたがどうしたらよいですか？

A：日本連盟から各県連盟に提供している企画書をご提供いただいて構いません。

また、イオンモール本社さまから各店舗に企画書が届いているはずなので、ご確認いただくようお願いください。

# 資料集



# “もしものとき”も、みんなの困ったを助けてあげよう！（パネル）

**AEON**  
 家族で体験！防災プログラム 全国防災キャラバン

**災害のときみんなの困ったを助けてあげよう！**  
 その輪を見て、それぞれどうして困っているのか考えよう。  
 そして、自分自身も困ったときどうしたらいいか考えてみよう。



外国の人が困っているみたい。どうしたらいいかな？



おばあさんが困っているみたい。どうしたらいいかな？



おなかに赤ちゃんがいるお母さんが困っているみたい。どうしたらいいかな？



車いすに乗っている人が困っているみたい。どうしたらいいかな？

**AEON**  
 家族で体験！防災プログラム 全国防災キャラバン

**災害のときみんなの困ったを助けてあげよう！**  
 みんないろいろな理由で困っているんだね。声にかけてみるか手伝ってほしいことを声にかけてみるから、みんなが困ったときみんなが助けてあげることが大切だね。



日本語が分からなくて困っているみたいだね。英語を試すことができる人を探したり、手紙を持ってきたりしてあげたら助かるね。



避難所で眠れなくて困っているみたいだね。声をかけてから、おなかに赤ちゃんがいるか確認してあげよう。



おなかを痛くて立ったり座ったりするのが大変みたい。重たい荷物も、おなかにやさしく、イスを持ってきてあげよう。



足音がのびなくて困っているみたいだね。やさしく声をかけてからお手出しをしてあげよう。



# シンボルマークを知ってみよう (パネル)

**AEON**  
 家族で体験！防災プログラム全国防災キャラバン

「もしものときどうしたらいいかわからない、怖いのが多い」  
**障がい者の方々に関係するシンボルマークを知っていますか？**

**1. 身体障害者用シンボルマーク**  
 身体障害者用シンボルマークは、身体障害者に対する配慮を促すために設置されています。エレベーター、トイレ、駐車場の案内などに設置されています。

**2. 歩行者用シンボルマーク**  
 歩行者用シンボルマークは、歩行者に対する配慮を促すために設置されています。歩道、横断歩道、信号機などの案内などに設置されています。

**3. 緑十字シンボルマーク**  
 緑十字シンボルマークは、救急車や救急隊の通行を優先させるために設置されています。救急車専用レーンや救急隊専用通路の案内などに設置されています。

**4. 防災シンボルマーク**  
 防災シンボルマークは、防災に関する情報を伝えるために設置されています。防災グッズの案内や防災訓練の案内などに設置されています。

お問い合わせ先：AEON 防災推進部  
 TEL: 03-3456-7890  
 E-mail: aeon@aeon.co.jp

**AEON**  
 家族で体験！防災プログラム全国防災キャラバン

「もしものときどうしたらいいかわからない、怖いのが多い」  
**障がい者の方々に関係するシンボルマークを知っていますか？**

**1. 高齢者用シンボルマーク**  
 高齢者用シンボルマークは、高齢者に対する配慮を促すために設置されています。高齢者専用バスや高齢者専用通路の案内などに設置されています。

**2. 緑十字シンボルマーク**  
 緑十字シンボルマークは、救急車や救急隊の通行を優先させるために設置されています。救急車専用レーンや救急隊専用通路の案内などに設置されています。

**3. 防災シンボルマーク**  
 防災シンボルマークは、防災に関する情報を伝えるために設置されています。防災グッズの案内や防災訓練の案内などに設置されています。

**4. 視覚障害者用シンボルマーク**  
 視覚障害者用シンボルマークは、視覚障害者に対する配慮を促すために設置されています。点字案内や点字表示の案内などに設置されています。

お問い合わせ先：AEON 防災推進部  
 TEL: 03-3456-7890  
 E-mail: aeon@aeon.co.jp

**AEON**  
 家族で体験！防災プログラム全国防災キャラバン

「もしものときどうしたらいいかわからない、怖いのが多い」  
**障がい者の方々に関係するシンボルマークを知っていますか？**

**1. 聴覚障害者用シンボルマーク**  
 聴覚障害者用シンボルマークは、聴覚障害者に対する配慮を促すために設置されています。手話案内や手話表示の案内などに設置されています。

**2. 歩行者用シンボルマーク**  
 歩行者用シンボルマークは、歩行者に対する配慮を促すために設置されています。歩道、横断歩道、信号機などの案内などに設置されています。

**3. 緑十字シンボルマーク**  
 緑十字シンボルマークは、救急車や救急隊の通行を優先させるために設置されています。救急車専用レーンや救急隊専用通路の案内などに設置されています。

**4. 防災シンボルマーク**  
 防災シンボルマークは、防災に関する情報を伝えるために設置されています。防災グッズの案内や防災訓練の案内などに設置されています。

お問い合わせ先：AEON 防災推進部  
 TEL: 03-3456-7890  
 E-mail: aeon@aeon.co.jp

# 全会場共通資材リスト

全国防災キャラバン 共通資材リスト (2021年Ver)


No.	品名	会場納品数	イメージビジュアル
パネル類			
1	自立ロールバナー_イベントタイトル	1	
2	B2パネル_ローリングストック説明 ※イーゼル設置	1	
3	B2パネル_ブロック積み上げゲーム説明 ※イーゼル設置	1	
4	B2パネル_しんぼるマークを知ろう① ※イーゼル設置	1	
5	B2パネル_しんぼるマークを知ろう② ※イーゼル設置	1	
6	B2パネル_しんぼるマークを知ろう③ ※イーゼル設置	1	

全国防災キャラバン 共通資材リスト (2021年Ver)





No.	品名	会場納品数	イメージビジュアル
パネル類			
7	B2パネル_シチュエーション (問題) ※イーゼル設置	1	
8	B2パネル_シチュエーション (回答) ※イーゼル設置	1	
9	B2パネル_災害ボランティアパネル① ※イーゼル設置	1	
10	B2パネル_災害ボランティアパネル② ※イーゼル設置	1	
11	B2パネル_ハンディキャップ体験案内 ※イーゼル設置	1	作成中
12	B2パネル_避難所体験案内 ※イーゼル設置	1	
13	アルミイーゼル (パネル掲示用)	12	

# 全会場共通資材リスト

全国防災キャラバン 共通資材リスト (2021年Ver)

No.	品名	会場納品数	イメージビジュアル
参加者配布			
14	A6_ラリーカード (汎用型)	200	
15	A4_参加者配布体験ノート	200	
16	お土産袋	200	
会場装飾			
17	テーブルクロス	1	
18	ポップアップサイン	1	
19	自立ロールバナー(H2000*W850)_BS野口さんロールバナー	1	
20	H1500,Φ50_BSパンチングバルーン&空気入れ	1	
21	1M_BSガーランド (2本セット)	1	

全国防災キャラバン 共通資材リスト (2021年Ver)

No.	品名	会場納品数	イメージビジュアル
プログラム資材			
22	ブロック積み上げゲーム ブロック(15個セット)	1	
23	ハンディキャップ体験①用資材 (軍手) 大人用と子供用	24双	
24	ハンディキャップ体験①用資材 (ビニール手袋) 使い捨て	300	
25	ハンディキャップ体験①用資材 (ボックス)	1	
26	ハンディキャップ体験①用資材 (目隠し布)	1	
27	ハンディキャップ体験①用資材 (ボックスに入れる小物)	1	
28	ハンディキャップ体験②用資材 (イヤーマフ)	4	
29	ハンディキャップ体験②用資材 (イヤーマフ用のビニール袋) 使い捨て	300	
30	消毒シート	3	
31	手指消毒アルコール	3	
32	ゴミ袋	10	
33	段ボールパーテーション	1	